

KAGOSHIMA LOVERS MAP

Tips to connect with Kagoshima City

首都圏で暮らしながら、
いま最高におもしろい
鹿児島市とつながるためのヒント集



今、ここでしか会えない、かごしま

かごしまラバーズマップ

Kagoshima Lovers Mapとは？

県境をまたぐ移動に高いハードルを感じる今。

直接足を運べなくたって、

心の距離はいくらでも縮められる。

ルーツの有り無しに関わらず、首都圏に居ながら、

最高におもしろい鹿児島市と一緒に楽しもうじゃないか。

そんな“Kagoshima Lovers”のつながりを、

今こそつくりたい。

Kagoshima Lovers Map（かごしまラバーズマップ）は、首都圏で暮らしながら、何かしらの形で鹿児島市とつながりを持ちたい方のための“関係づくりのヒント集”です。

- ・ 移住は考えていないけれども、遠隔で鹿児島市のローカルプロジェクトに関わりたい
- ・ ゆくゆくは首都圏と鹿児島市でデュアルライフを実現したい
- ・ 首都圏で鹿児島市つながりの仲間を増やしたい
- ・ 第2、第3の活動拠点として鹿児島市に居場所をつくりたい

など、さまざまな関わり方を実現するために参考となる情報を集めました。

今の暮らしの中で鹿児島市と関わりを持つ第一歩として、

Kagoshima Lovers Mapがお役に立てれば幸いです。



index

Kagoshima Lovers Mapとは？

鹿児島市ってどんなまち？ 2

まちと人をつなげるプロジェクト 6

まちと人をつなげる場所 10

みんなのケース別Q&A 14

あとがき

鹿児島市って どんなまち？



桜島と市街地
photo by 内村 浩大

世界有数の活火山 桜島に見守られながら約59万4千人が暮らす鹿児島県内最大のまち、鹿児島市。

車で片道1時間圏内に、繁華街、オフィスエリア、四季を感じながら過ごせる閑静な住宅地、そして休日を思いっきり心地よく過ごせる大自然が広がっています。



Kagoshima City

年間通して温暖な気候に恵まれている鹿児島市での暮らしはとても穏やか。近所の住民同士で声を掛け合う温かなつながりが生きていて、食べものも美味しい。人も自然も、心地よい距離感で生活している「ちょうどいいまち」それが私たちの暮らす鹿児島市です。

写真上：鹿児島市の玄関口、鹿児島中央駅
写真下：旧鹿児島紡績所技師館（異人館）



上町(かんまち)

上町は江戸や明治の時代の面影が色濃く残る鹿児島市内随一の歴史スポットです。JR鹿児島駅、また多くの船が発着する鹿児島本港も近くにあり、鹿児島の北の玄関口でもあります。南洲門前通り(左写真)には道路脇に昔ながらの石垣などが残っており、歴史情緒を感じる地域です。



名山(めいざん)

鹿児島最大の繁華街「天文館」から歩いて約10分。昔ながらの情緒が残る長屋の町並みが特徴的な地域です。古民家をリノベーションしたショップが並んでいたり、散歩するだけでも楽しいディープスポット！

幕末～明治の歴史が残る街並み



鹿児島最大の繁華街として昔から多くの鹿児島市民に愛されてきた「天文館」。郊外への大型商業施設の進出などの影響で衰退が心配された時期もありましたが、現在は新しいランドマークとなる再開発ビルの建設などが進んでいます。2022年春に完成予定。高層階はホテル、低層階は商業施設となり、複数店舗が出店予定です。

また、新幹線の発着駅でもある鹿児島中央駅前でも再開発ビル「鹿児島中央タワー」の建設が進んでおり、2021年春から商業施設が順次開業を始めています。

天文館から路面電車で5分ほどの場所には外資系高級ホテルや総合病院、商業施設が集まる「キ・ラ・メ・キテラス」が順次開業を始めており、再開発によって鹿児島市内中心部に新たな可能性が生まれようとしています。

各地区で進む再開発



写真左から
千日町1・4番街区完成イメージ
「鹿児島中央タワー」完成イメージ
「キ・ラ・メ・キテラス」完成イメージ

自然豊かでのびのびとできる郊外



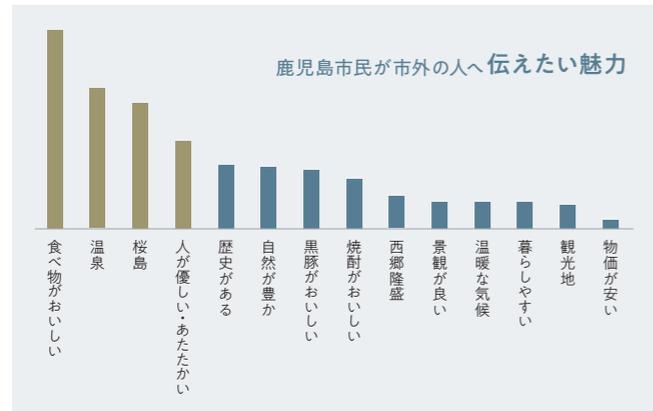
喜入(きいれ)

青い海と自然豊かな山々が目の前に広がる市内南部の地域、喜入。のびのびとした雰囲気がありながら生活もしやすい地域です。



郡山・八重の棚田(こおりやま・やえのたなだ)

鹿児島市中心部を流れる甲突川の源流域である市内北部の郡山町八重地区。九州棚田百選にも選ばれている美しい棚田が広がる地域です。農業体験などグリーンツーリズムに力を入れています。



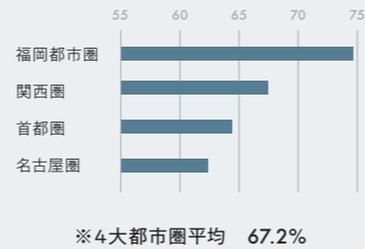
イメージ調査からみる鹿児島市のいま

市民が伝えたい街のいいところ（鹿児島市イメージ調査2018）によると、1位は「鹿児島の土地と歴史が育んだ食文化」2位は「温泉」3位は「桜島」、そして4位は、歴史や西郷さんをおさえて、「人の優しさ・あたたかさ」がランクイン！住んでいるからこそわかる人の持つ魅力に可能性が感じられました。

まちへの愛着の高さと外の人を受け入れる風土がシティプロモーションのカギ

「人の優しさ」を魅力と答える鹿児島市民は、まちへの愛着もほかより高いという結果に！

また、「観光客や訪問者をもてなしたい」という気持ちも、他の都市圏と比べて1.8倍と高く、この内にも外にも温かい市民気質が、シティプロモーションのカギになると考えました。



01 シンボルマーク総選挙



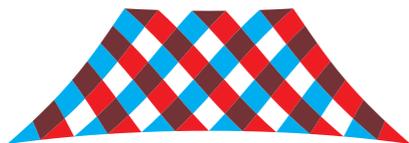
まずは愛着をもっていただくためにシンボルマークを鹿児島市を愛する人たちに総選挙にて決める。3案の中から、マグマシティに決定！

02 Kagoshima Lovers Project

KAGOSHIMA LOVERS PROJECT

首都圏で暮らしながらも、鹿児島市と何かしらの関わりを持ちたいという方を対象とした、鹿児島市と首都圏とをつなぐコミュニティづくりプロジェクトとして「Kagoshima Lovers Project」が誕生！

あなたとわくわく



マグマシティ
鹿児島市

4,693票 / 7,249人からの投票で選ばれました！

鹿児島市 シンボルマーク

桜島を連想させる「マグマ」というフレーズは、鹿児島市のまちや人が持つ「熱量」を表しています。「あなたとわくわく マグマシティ」は、鹿児島市民（赤い糸）と市外の人々（青い糸）が交流する中で、思いを合わせ、わくわくする未来を紡いでいこうという願いを込めた鹿児島市のブランドメッセージです。

KAGOSHIMA LOVERS PROJECT

- concept
- 1 鹿児島ゆかりの人材がゆるやかに「今の鹿児島市」と接続する場をつくる
 - 2 関東生まれ関東育ちの層への「第2のふるさと」を提案する場をつくる

以下2つのコンテンツを通して、首都圏と鹿児島市とを結ぶファンコミュニティづくりに取り組んでいます。

KAGOSHIMA LOVERS ACADEMY

かごしまラバーズアカデミー

鹿児島市とつながりを持ちたいと考えている首都圏の方々が今のリアルな鹿児島市を知り、自分の関わり方を考えるオンラインプログラムです。

2020年9月下旬から12月までの約3ヶ月間、全5回のオンライン講座を通じて、鹿児島市の魅力や課題・可能性などを感じながら、「自分に何ができるのか・何をしたいのか・何が求められているのか」といった“関わりしろ”を探りました。

参加者同士でのコラボ活動や、首都圏での日常に鹿児島市との関わりを生むようなコミュニティ形成など、たくさんプロジェクトが生まれ、活動期間中に実現したものもありました。

かごしまラバーズミートアップ

「鹿児島市の今の様子を詳しく知りたい」「首都圏で鹿児島仲間とつながりたい」そんな方々が集うオンライントークイベントです。

2020年7月から2021年2月の間に6回開催し、各回異なるテーマについて鹿児島にゆかりのある様々なゲストを迎えながら、今の鹿児島市の姿と魅力を伝えました。延べ参加者数140名。

KAGOSHIMA LOVERS MEET UP

KAGOSHIMA LOVERS NETWORK

KAGOSHIMA LOVERS MAP

首都圏と鹿児島市とをつなぐファンコミュニティづくりの一環として、メールマガジンを使った情報発信やネットワーク形成、本誌の発行なども行っています。

メールマガジン受信をご希望の方はQRコードまたは下記URLよりお申し込みください。
<https://sv7.mgz.jp/sys/reg.php?cid=T007700>



まちと人をつなげるプロジェクト

2020年9月~12月に開催した“首都圏にいながら鹿児島市との関わり方を探るオンライン連続講座”
Kagoshima Lovers Academyで誕生した数々のプロジェクト。
その中から、さまざまな人が関わることのできる3つのプロジェクトをご紹介します。



Kagoshima Lovers Academyで誕生したプロジェクトや受講生の方々の紹介についてはこちらのnoteマガジンをご覧ください。
「Kagoshima Lovers 17名のSTORY @首都圏」
https://note.com/ten_lab/m/mbe22164cfa9a

no.
01

カゴネクト KAGONNECT!!

鹿児島をきっかけにつながるオープンでフラットなコミュニティを掲げる KAGONNECT!! (カゴネクト) は、鹿児島市が主催した Kagoshima Lovers Academy を通じて出会った個性豊かな首都圏在住のメンバーが集まり立ち上げました。

オンラインイベントやSNSなどを通してコミュニケーションを取り合いながら、鹿児島を軸とした情報交換や支えあいの仲間づくりを行っています。

<これまでの活動例>

- ・オンラインのおしゃべりコミュニティ「茶いっぺ会」
- ・オンライントークイベント「KAGONNECT!! クロストーク」
- ・首都圏の西郷さん縁の地を巡るツアー
- ・鹿児島の大学生との交流、上京相談

ほかにもブログ企画や料理会などを随時企画中



photo by 内村 浩大



CONTACT

このプロジェクトへの参加希望や関心のある方は以下のFacebookページからお問い合わせください。
<https://www.facebook.com/KAGONNECT>

— 立ち上げメンバーの中から2名の方にお話を伺いました！

立ち上げメンバー naoさん

鹿児島をきっかけにつながった、多種多様なバックグラウンドを持った仲間たちとオープンに、フラットに、学び合い、助け合いながら、人生をより豊かなものにしてみませんか？

message



Question

1

Kagoshima Lovers Academyに参加した理由は？

妻の実家が鹿児島にルーツがあり、ずっとご縁を感じていました。何度か鹿児島に行ったこともありますが、自然の豊かさや人の温かさに触れ、また関われる機会があったらいいなと思っていたため、参加しました。

県外の人たちに知られていない鹿児島が、まだまだたくさんあるような気がします。鹿児島の人が首都圏のコミュニティとつながることで、情報の地域間格差を縮められる可能性がありますし、多様性が生まれ、新たなビジネスチャンスが生まれる可能性もあります。

Question

2

どのような“関わり方”を見つけましたか？

鹿児島と首都圏を繋ぐコミュニティを作りたいと考え、同じ思いを持つメンバーと「KAGONNECT!!」を立ち上げました。商店街に例えると、コミュニティのコンセプトがアーケード部分で、そのもとでいろいろなお店が活動を行っているような、自由度高くゆるやかに繋がりがあえるコミュニティです。

私の第一歩は、このプロジェクトで出会った仲間と KAGONNECT!! を通じて繋がりを続けること。そして、つながりを広げていくことだと思っています。



立ち上げメンバー なほさん

茶いっぺ会は、誰でも参加でき、お茶を飲みながら話せる気軽さを大事にしています。オンラインでいろんなことができるようになって、首都圏にいても鹿児島が近くに感じられるようになりました。

message

Question

1

Kagoshima Lovers Academyに参加した理由は？

私は鹿児島市出身で今は首都圏で暮らしています。コロナ禍の今、人の心の温かさを実感できるコミュニティが大切だと日々感じていて、出身地の鹿児島市にも移住者・地元民関係なく関わりあえるコミュニティができればいいなと思っていました。私自身は今すぐ鹿児島にUターンするという事が難しいので、リモートでもできることで鹿児島とつながっていきたくらい、参加しました。

再開に伴って外資系ホテルの参入が計画されていたりと、宿泊先の選択肢が増えることに可能性を感じています。宿泊場所の選択肢が増えれば、観光客の方々の鹿児島市内での滞在時間も増え、魅力を知ってもらう時間も増えると思います。

そして、外から訪れた人と地元の人との「新しい交流」を広げていきたいです。

Question

2

どのような“関わり方”を見つけましたか？

鹿児島市で暮らす人と、首都圏で暮らす人を接続する場所を作りたいと思い、KAGONNECT!! の立ち上げに参画しました。具体的な一歩として、“鹿児島”をテーマに語りあうオンラインのおしゃべりコミュニティ「茶いっぺ会」を開催し、今後も定期的に開催していきたいと考えています。

※「茶いっぺ」とは、慌てず急がず、どうぞ一度落ち着いてお茶を一杯(いっぺ)飲んで行かれてくださいという相手を気遣う鹿児島の方言です。

no.
02SDGs de エデュケーション
& ワークेशनツアー

北海道出身。お仕事の都合で過去に約5年間、鹿児島に移住された経験を持つだーしまさん。人事のプロフェッショナルとして働く傍ら、ワークショッププランナー・SDGsを意識したビジネスコンサルティング事業も展開されています。

だーしまさんが自身のこれまでの経験や得意分野を掛け合わせて見つけた鹿児島市との関わり方は「SDGsを親子で学ぶ体験型学習×ワークショップツアー」。



- ①知る：SDGsの視点で鹿児島市を学びながら観光するオンラインツアー
- ②食す：鹿児島市でつくられた産品を食べて地域を楽しむ少人数制リアルイベント@首都圏
- ③体験する：実際に足を運び、鹿児島市の魅力を体感するリアルツアー@鹿児島市

上記のようにリアルとオンラインを組み合わせたワークショップツアーの実施を計画中です。

Question

1

Kagoshima Lovers Academyに参加した理由は？

鹿児島に住んでいた時にRegionというフリーペーパーを読んだことがきっかけで鹿児島に魅了され今も鹿児島のこと大好きです。鹿児島から離れて3年が経った今、鹿児島市の魅力を再発見し、仕事を絡めた関わりを持ってないか模索したいと思い、参加しました。

Question

2

どのような“関わり方”を見つけましたか？

私は現在、SDGsビジネスパートナー及びワークショッププランナーとして、主に長野県志賀高原に関わっています。地元の宿泊企業のオーナーの方々と、ツアーの企画やイベントを実施しています。例えば、SDGs“6_安全な水とトイレを世界中に”をテーマにしたSDGs×ワークショップツアーでは、志賀高原の管理者しか入れない水道施設の見学や志賀高原の源流の水を使用したビーガン料理コースなどを実施しました。このような経験を活かして鹿児島市でできることを考えています。

桜島は日本ジオパークに認定されており、かつ、本当に“よか人(良い人)”が多い地域です。そこで、桜島を軸とした自由研究もできる親子体験型SDGs×体験型ワークショッププランができればと思っています。

現地の方の知恵や経験、それに、自分が持っているかごしま検定の知識や人事×SDGsの知識・経験を活かし、貢献したいです。



プロジェクト発起人だーしまさん

ツアーの舞台となる桜島は日本にただ一つの都市部にある活火山です。
2013年に日本ジオパークに認定され、2030年に迎えるSDGsを体現するに相応しい場です。
次世代を担う子供たちと一緒に桜島でツアーを通してSDGsを体現しましょう!!

CONTACT

このプロジェクトへの参加希望や関心のある方はKagoshima Lovers Project 運営事務局へお問い合わせください。
詳しい連絡先は本誌裏表紙をご覧ください。

message

no.
03鹿児島市と域外をつなぐ
公務員ネットワーク

首都圏のとある地域の市役所に勤務されているあゆみさん。パートナーが鹿児島市で暮らしていることから、自身も移住を考えるようになりました。しかし、お仕事の都合もあり、すぐに移住できるわけではありません。

遠隔での関わり方を模索した結果、見つけた答えは「行政職」という経験を活かしたネットワークづくり。鹿児島市の行政職員と、首都圏の行政職員とが情報や意見をやり取りするオンライン交流会を開催しました。

最終的には都市部の公務員が他の地域にも関係人口として関わるトレンドづくりを目標に掲げ、ご自身も鹿児島市に拠点をもち今の仕事を継続できる環境づくりを目指しています。



Question

1

Kagoshima Lovers Academyに参加した理由は？

鹿児島市への移住を希望していますが、今の仕事も好きなので、どうしようか悩んでいます。鹿児島と地元を歩き来する生活もありかもしれません。どんな風に生きていこうか、どんな風に働こうか、悩みながら鹿児島市とのつながりを見つけられたらと思って参加しました。

首都圏住民の大半は、鹿児島がこれほど栄えていることや、食べ物に恵まれていることを知らないと思います。東京と鹿児島では情報量に差があるという声がありますが、鹿児島の情報も首都圏になかなか入ってこないように思います。

ということは、知ってもら余地があるということですから、チャンスは無限にあると思います!

Question

2

どのような“関わり方”を見つけましたか？

私は鹿児島のために何ができるのだろうかと考え、自分が積み上げてきたものを振り返ったときに、どうしても「行政」の立場、目線を捨てきれませんでした。

鹿児島市と関わる中で自分の仕事・立場を活かせないものかと考え、まずはオンラインでできることからと思い、鹿児島市の行政職員の方と私の周りの首都圏行政職員とのオンライン交流会を企画しました。



プロジェクト発起人あゆみさん

県外の公務員という立場だからこそできることは何なのか、一緒に考えていきましょう!

message



CONTACT

このプロジェクトへの参加希望や関心のある方は以下のGoogleフォームからご連絡ください。
<https://tinyurl.com/yyv3d5c3>



まちと人をつなげる 場所

「鹿見島市に来たらココを訪れるべし！」

そんな、鹿見島市との関わり方を探している方におすすめのスポットが市内にはたくさんあります。

選定ポイント

- 1 鹿見島市を愛するさまざまな人が集う
- 2 スタッフが移住経験者である
- 3 鹿見島市のまちに関わる活動も積極的に行っている
- 4 公共交通機関で訪れやすい



mark MEIZAN (マークメイザン)

鹿見島市が設置するクリエイティブ産業創出拠点施設です。オフィス・イベントスペース・キッチン・コワーキングスペースを備え、クリエイターのチャレンジを後押しするさまざまなワークショップなども開催しています。

ACCESS 市電「朝日通」下車徒歩3分

☎ 〒892-0821 名山町 9-15 ☎ 099-227-1214
 ☎ (交流スペース) 9:00~19:00、(ユーティリティスタジオ・テストキッチン・会議室) 9:00~21:30、(入居用施設・商談コーナー) 年中無休・24時間



桜島ミュージアム (桜島ビジターセンター)

世界有数の活火山である桜島全体を一つの「博物館」ととらえ、自然や文化の保存・活用を目的とした展示やツアーイベントの開催などを行っています。拠点となる施設「桜島ビジターセンター」では火山活動の歴史、自然、暮らしなど桜島について様々な角度から知ることができます。

ACCESS 桜島フェリーターミナル桜島港より、徒歩10分

☎ 〒891-1419 桜島横山町 1722 番地 29
 ☎ 099-293-2443
 ☎ 9:00~17:00 (年中無休)



鹿児島県共生・協働センター

NPO 法人の活動支援を中心に、鹿児島県内の地域活動や社会活動のサポートを行っています。NPO 法人に限らず、県内でソーシャルビジネスや地域活性化活動などに取り組む非営利団体、地域コミュニティ、個人の方も活用することができます。

ACCESS 市電「水族館口電停」下車徒歩4分、JR「鹿児島駅」下車徒歩10分、バス「水族館口」下車徒歩5分

☎ 〒892-0816 山下町 14-50 かごしま県民交流センター1階 (東棟側)
 ☎ 099-221-6613
 ☎ 9:00~17:00 (月曜休館。月曜が祝日の場合は翌平日休館)



ペンギン酒店

酒好き旅好きな夫婦で営む、子連れでも気軽に入れて幅広い世代の常連に愛されるお店。世界各国、日本各地から取り寄せたおもしろいお酒を楽しめます。店主の六平さんは鹿見島に移住して世界一周の新婚旅行後にお店を開業。

鹿見島をもっとおもしろく盛り上げて、Uターンしなくなる、もしくは帰省を年に6回に増やしたくなるような街にしていきたいと思っています。



岡田六平さん

PROFILE

1978年生まれ、香川県出身。鹿児島県の食と人の豊かさに惚れ込み、この地で飲食店をやりたいと移住。飲食業大好き、ソムリエ資格あり。

ACCESS 市電通り沿い 騎射場駅・騎射場バス停前 すぐ

☎ 〒890-0054 荒田2-76-8 さくら咲ビル1F ☎ 099-807-2426
 ☎ 平日16:00~22:00 土12:00~22:00 日祝12:00~21:00 (不定休)



さつま酒飯店 和総 (WASOU)

店主の鳥越さんの鹿児島愛はとにかく熱い! 食とお酒を通してかごまを知りたかったらまずはココ! というお店。運が良ければ焼酎の蔵元さんにも会えるかも?! 向かいには姉妹店の「和ごん」と、2020年にオープンした酒屋もあります。

鹿児島が好き過ぎて、鹿児島の焼酎と美味しい食を世の中にもっともっと伝えたいとの想いで、ウナマカものとの笑顔が集う場所「和総」を立ち上げました。



鳥越慎一さん

PROFILE

鹿児島の食と焼酎の発信基地として、美味しいものを一杯一皿を通じ県内外の方に伝えていきたいという想いで開業。ポリシーは「一日一生」。

ACCESS 鹿児島市電(系統1) 天文館通駅 徒歩3分

☎ 〒892-0842 東千石町 7-17 ニイムラビル1F ☎ 099-295-6655
 ☎ 11:30~14:00、17:30~23:00 (不定休)



バカンス

10人のオーナーが家賃を出し合って場を作っている、名山町の空き家を活用したコミュニティ。

定期イベントは毎週水曜の「新聞でおはようバカンス」「たにかつフリーコーヒー」、毎週金曜の「朝カフェ de バカンス」。

こんにちは! 名山町バカンスです。毎週水曜日と金曜日に笑顔のあふれるイベントを開催しています。鹿児島に遊びにいらした際には是非お立ち寄りください!



加治屋紗代さん

PROFILE

鹿児島市出身。「バカンス」の2代目代表として、金曜日の朝1時間限定の物々交換カフェを100回以上開催。その他、DJとしても活動中。

ACCESS 鹿児島市電(系統1) 市役所前駅 徒歩3分

☎ 〒892-0821 名山町 3-20 (黒田金物店アーケード奥) ☎ なし
 ☎ WEBサイトをご確認ください <https://meizan-vacance.com/>



鹿児島ユナイテッドカフェ「ユナはん」

Jリーグのサッカークラブ、鹿児島ユナイテッドFCのオフィシャルカフェ。サッカーチームのカフェといってもサポーターはもちろんのこと、鹿児島の面白い人が集まるコミュニティになっています。名物は店主田仲さんがつくるたこ焼き。

県内外だけでなく海外からもサッカー好きが集う場所。鹿児島をもっと好きになるきっかけのひとつとして、鹿児島ユナイテッドを応援してみるのはいかがでしょうか? (笑)



田仲正明さん

PROFILE

大阪市出身。コンサル会社などを経て2003年鹿児島に移住。たこ焼き屋をやっていたが、2014年より「ユナはん」店主として活動。

ACCESS 鹿児島市電(系統1) 高見馬場駅 徒歩3分

☎ 〒892-0844 山之口町 1-10 鹿児島中央ビル地下1F ☎ 099-222-9610
 ☎ 平日・土・祝日 12:00~19:00 (日曜日休、ほか不定休)

in
首都圏
METROPOLITAN AREA

まちと人をつなげる 場所

実は、首都圏には鹿児島市に縁のある場所や鹿児島関係のお店が
たくさんあるということをご存じでしょうか？

こちらのコーナーでは、Kagoshima Lovers Academy 受講生が選んだ
おすすめの“鹿児島市を感じるスポット in 首都圏”をコメントと共に紹介します！



かごしま遊楽館

1階は鹿児島県産の食品や雑貨などを取り扱う鹿児島アンテナショップ。鹿児島の最新の観光情報なども発信しています。
2階には鹿児島産黒豚の料理を提供するレストラン、3階には鹿児島の伝統工芸品を販売する鹿児島ブランドショップがあり、余すところなく鹿児島らしさを楽しめる施設です。

..... 私がおすすめします!

鹿児島の名産品や魅力がぎゅっと詰まった場所で、鹿児島を体感することができます！

Kagoshima Lovers Academy 受講生 きしもんさん



鹿児島の雰囲気を感じる店員さんが試食をすすめてくれたりと、有楽町のだ真ん中ながら癒されます！

Kagoshima Lovers Academy 受講生 まるちゃん



〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-6-4 千代田ビル1~3階
※アクセス方法・電話番号・営業時間などはWEBサイトをご確認ください。
<https://www.pref.kagoshima.jp/yurakukan/>



上野恩賜公園

上野恩賜公園は、動物園、博物館、寺社仏閣、不忍池もある散策スポットです。西郷さんの銅像で有名ですが、国立博物館、上野動物園の創業者、町田久成さんも薩摩藩出身だそう。自然を感じながらゆったり過ごせる憩いの場として人気の公園ですが、実は鹿児島と関係の深い場所でもあるのです。

..... 私がおすすめします!

鹿児島ゆかりの地と言えばここ！というベタな場所ですが、西郷銅像を見ると東京と鹿児島市とのつながりを感じます。

Kagoshima Lovers Academy 受講生 UKさん



西郷さんの銅像、上野に行ったら必ずご挨拶にいきます。ツンをつれた西郷さんがいつも変わらずそこに、いてくれると、やっぱり元気がもらえます。

Kagoshima Lovers Academy 受講生 ゆーちゃん



〒110-0007 東京都台東区上野公園池之端3丁目
※アクセス方法・電話番号・営業時間などはWEBサイトをご確認ください。
https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jimusho/toubuk/ueno/index_top.html



西郷山公園

旧西郷邸（西郷隆盛の弟、西郷従道（じゅうどう）の敷地）のあたりで、地域の方々から「西郷山」と呼ばれ親しまれていた場所。人工の滝や台地の芝生広場などがあり、子どもたちのびのび遊べます。また、ゆるやかな坂道の園路や展望台が設けられ、冬によく晴れた日には遠くの富士山も望めます。

..... 私がおすすめします!

鹿児島の各市町村から寄贈された木があり、西郷さんへの鹿児島県民のRESPECTや共通の思いを感じることができ、感動しました。見晴らしも良い場所です。



Kagoshima Lovers Academy 受講生 ゆーちゃん

〒153-0042 東京都目黒区青葉台2-10-28
※アクセス方法・電話番号・営業時間などはWEBサイトをご確認ください。
<https://www.city.meguro.tokyo.jp/shisetsu/shisetsu/koen/saigo.html>



Bar Ohana (吉祥寺)

鹿児島出身の女性が経営している鹿児島料理の飲食店です。鹿児島の食材を使った料理や焼酎を楽しむことができます。豚骨の煮物や揚げたてのさつま揚げ、鳥刺しなど定番郷土料理から、酒盗や鯉節を使ったアレンジ料理も取り揃えており、多くの鹿児島にゆかりのある人が集うお店です。



港区、品川区周辺

港区、品川区周辺エリアは薩摩藩が活動拠点にしていたスポット。戊辰戦争の引き金となった「薩摩藩邸焼打ち事件」の舞台である三田屋敷をはじめ、高輪屋敷、田町屋敷、大井屋敷と、品川周辺に4つの薩摩藩邸がありました。明治維新をテーマにした歴史小説などでも頻繁に出てくるように、当時の薩摩藩にとって非常に重要な拠点だったことを感じます。

写真左・右上：愛宕神社（江戸城無血開城会談の地）
写真右下：薩摩藩上屋敷跡石碑

..... 私がおすすめします!

特に北品川エリアは薩摩藩由来の稲荷神社があったりと鹿児島を感じる街並みが広がっています。鹿児島市の名山を彷彿とさせる建物も多くて、とてもホッとしますよ。



Kagoshima Lovers Academy 受講生 さや子さん

..... 私がおすすめします!

カウンターに座ると隣の人も気軽に話しかけてきてとてもアットホームな場所です。

Kagoshima Lovers Academy 受講生 こうだいさん



美味しい鳥刺しが食べられる東京では貴重なお店。鹿児島の家庭の味が気軽に楽しめます。店員さんやお客さんも鹿児島出身者や鹿児島好きが多く、つい話が盛り上がります。

Kagoshima Lovers Academy 受講生 みずきさん



〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-25-4 平田ビル2F
※アクセス方法・電話番号・営業時間などはWEBサイトをご確認ください。
<https://www.barohana.com/>

こんなとき、どうしたらいい？

みんなのケース別 Q&A

首都圏など、鹿児島市から離れたところで暮らしているけれども、大好きなこの街に何かしらの形で関わりたい！そんな想いを持つ方へ向けて、ケース別の質問に経験者がお答えするQ&Aコーナーです。遠隔で鹿児島市と関わりを持つ人達は、どのような工夫をしているのでしょうか？また、受け入れ側である鹿児島市にはどのような人達がいるのでしょうか？

Q

鹿児島市のことが気になる！
移住以外でも関わられる？

A

移住以外で関わる場合は、まず自分が鹿児島市に帰ってきたと思えるような場所を作ることが大切です。そのために鹿児島市の中でコミュニティに参加してみるといいと思います。その中で自分の鹿児島市に対する思いや、関わり方について周りと話をしていくと少しずつ具体化していくはずですよ。
コミュニティで関わった人と一緒にイベントを企画・運営して自分の居住地で鹿児島市をPRするといったことも関わりを持つ大きな一歩になります。



Kagoshima Lovers Academy 受講生 こうだいさん



実際に移住以外の方法で鹿児島市のプロジェクトに関わっている人に話を聞いてイメージを膨らませることからスタートしてはどうでしょうか？鹿児島市にはそんな方にOpenなコミュニティ「KAGONNECT!!」があります！首都圏から鹿児島に関わっている人、県外出身者からのUターン、Uターン経験者が集まり、ゆるく語り合える場です。
また、鹿児島市が積極的にスタートアップ支援に取り組んでおり、どんどん面白いスタートアップが増えてきています。首都圏の修行で身に着けた経験・ノウハウを活用できるチャンスが見つかるかも！

Kagoshima Lovers Academy 受講生 原田さん

Q

鹿児島市内で地元好きが集まる
コミュニティや場所がありますか？

A

ぱっと思い浮かぶのは、名山バカンス（水曜、金曜）、ユナイテッドカフェ、和総、SUNNY DAYS COFFEE（ふらりと行って話しかけて）…。鹿児島市のシティプロモーション事業PLAY CITY! DAYSで各地にKAGOSHIMA LOVERな人々が生まれています。コミュニティは人にひもづくので、まず一カ所行ってみて、出会った人についていけばもっともっと開拓できそう。オンラインイベント「鹿児島100人カイギ」もおすすめです。



Kagoshima Lovers Academy メンター 門間さん



桜島好きが集まるコミュニティなら桜島ミュージアム！（笑）30代前半のUターンのスタッフやその友達がいっぱいいます。これまでに19名の移住に関わってきました。桜島好きが集まる場所なら桜島港フェリーターミナルにあるMINATO CAFE。鹿児島市に住む桜島好きが集まってきましたし、観光客や桜島の住民も来る場所です。もちろんスタッフも桜島好き。ここに来れば色々な人と出会えます（^^）

Kagoshima Lovers Academy アドバイザー 福島さん

Q

鹿児島市の今を知りたい時、
どうやって情報収集してる？

A

Kagoshima Lovers Projectのような鹿児島市関連のオンラインイベントに参加したり、イベントでの会話やSNSなどで自分の興味・関心を発信してみることで、情報をいただける機会が増えたり、知り合いの輪が広がっていくと感じています。距離が離れていても、想いを共有し合える仲間が増えると、何かあったときに気軽に相談したり、頼れることに安心感がありますし、よりいっそう、ふるさととのつながりを実感し、ふるさととの今が知りたくなります。



Kagoshima Lovers Academy 受講生 ゆーちゃん



鹿児島の地元メディアのニュースもオンラインで配信しているので、遠方からでもリアルタイムの情報を知ることができて便利です。地元新聞社のLINEアカウントやHP、鹿児島のWEBメディアなどをよくチェックしています。関心を持った情報は発信元のSNSアカウントをフォローすれば、さらなる情報収集や繋がりに活用できますよ。

Kagoshima Lovers Academy 受講生 こうたさん

A

地元友達や知り合いがいればまずは聞いたり、いない場合でもインスタで「鹿児島」とキーワードを組み合わせて検索し、気になる情報をフォローしたりしています。漠然と面白い場所や取組みがないか調べるときは、地域系の情報が多い雑誌やウェブマガジン（ソトコトやgreensなど）のアーカイブ記事に検索をかけることもあります。そこで知った情報を友人との何気ない会話の中でぼろっと話すと、意外なところでチャンスに繋がったりして、情報収集・発信の大切さを感じます。



Kagoshima Lovers Academy メンター 西さん



ずばり！鹿児島市で今一番おもしろいと感じることは？



すべてが近いし、つながる！人が近い！まちが近い！自然が近い！何をするにも自分次第！行動すると必ずつながる！まずは、鹿児島で活動している人たちのプラットフォームに入ってフォロワーから参加してみよう？そこから自分がしたいことやできることを探究すればやれることはたくさんあることに気づきます！

Kagoshima Lovers Academy アドバイザー 須部さん



20万人以上のフォロワー数を誇る平川動物公園の公式 Twitter はこまめにチェックしています。動物園の裏話や動物たちの豆知識などが見れておもしろいです。

Kagoshima Lovers Academy 受講生 みずきさん



“かごつまふるさと屋台村”を卒業した人達の新店舗に注目しています！鹿児島中央駅の近くに、地元食材や郷土料理を出す店が25軒集まっていた屋台村があったんです。私も大ファンだったのですが、惜しまれつつ2020年末に営業終了になりました…。そこで店を出していた人達が次、どんな新店舗を構えるのか。私はまだ行けていないので、足を運ぶのが楽しみです！

Kagoshima Lovers Academy 受講生 コミさん



鹿児島市の魅力も課題も知っているけど、自分は何ができるんだろう？



私も24歳で同じような気持ちを抱えています。鹿児島が好きで関わりたいけれど、東京の今の生活でいっぱいいっぱい…。そんな時、私は思い切ってKagoshima Lovers Academyに参加してみました。まだはっきりと鹿児島との関わり方が明確になった訳ではないですが、鹿児島loverの皆さんとの出会いで、これからの人生が変わっていくような、ワクワクした気持ちです。

Kagoshima Lovers Academy 受講生 まこっちゃん



自分が面白いと思えることに飛び込んでみました。結果、仲間ができたり、この人の挑戦を応援しよう！という関わりしろが増えてくるなど感じています。さらに自分が面白い姿を伝えることで、関わりたいと思う人を増やしたり、鹿児島市にエールを贈ることに繋がったらいなと思っています。

Kagoshima Lovers Academy 受講生 うっちーさん



最初は考えが課題解決のみに偏っていましたが「なぜ鹿児島市に関わりたいのか」を考えると、きっかけは間違いなく西郷さん。西郷さんを通じて出会った鹿児島人との繋がりをより深め、広げたい想いがありました。周りに呼びかけて首都圏の西郷さん縁の地ツアーを開催。お互いを深く知り合い、同じ心の故郷がある素晴らしさを感じることができました。

Kagoshima Lovers Academy 受講生 シンゴさん



鹿児島の人にはよそ者を受け入れにくい印象があります。実際はどうですか？



「受け入れる人もいれば、そうでない人もいる。」と覚悟をして、私は鹿児島への移住を決めました。学校や職場環境の変化で誰しもが培ってきた自分が過ごしやすい環境をつくる力を少しだけ使って受け入れてもらう努力は一応しました。すると、心温かく迎える人や困ったときに手を差し伸べてくれる人が、鹿児島にいてくれたことを我が身を持って経験できました。よそ者だと胸を張って鹿児島に関わってみる人生も楽しいと思います。

Kagoshima Lovers Academy メンター 地域おこし協力隊 押川さん



杞憂です。まずは笑顔で丁寧に接することを心がけてみてください。良い情報がどんどん広がっていくので、丁寧な接し方が大切です。曖昧な返事は×、適当な奴と思われたら大変です。。かごんま弁（鹿児島弁）が聞き取れなかったら聞き返しても大丈夫です！

Kagoshima Lovers Academy メンター 地域おこし協力隊 橋口さん



鹿児島市を舞台にやりたいことがある！どこから始めよう？



何かチャレンジするとき、①自分がやりたいこと②周りから求められていること③できることの3つが重なるところを探ることが大切です。やりたいことが見つかったら、「じゃあ今すぐできることは何だろう？」ということを考えてみましょう！身近に実現できる“小さな一歩”から初めて、徐々に積み重ねながら進んでいくことがおすすめです。

Kagoshima Lovers Academy 講師 永山



これまでゆっくり鹿児島市を訪れたことがなかった僕ですが、「まずはもっと鹿児島市のことを知りたい！」と思って、鹿児島つながりの友人を増やしたり、郷土料理のレシピを調べてつくってみました。そうやって仲良くなった鹿児島の人を訪ねながら、歴史や食べ物など、鹿児島市の特徴的な場所を改めて観光してみたりもしましたよ。鹿児島市の面白さをたくさん発見することができました！

Kagoshima Lovers Academy 受講生 UKさん



まずは情報収集はどうでしょうか。私の場合ですが、コロナ禍で現地にいけなかった為、最初は基本情報（法律、風土、競合事業等）を集めました。またそれだけだと鹿児島市でどう実現できるか分からなかった為、Kagoshima Lovers Project の運営・参加者の協力を得て、プロジェクト案のプレストや現地の人が感じている課題のアンケートを実施しました。それらを踏まえてどう動きたいかより方向性がみえてきました。

Kagoshima Lovers Academy 受講生 さや子さん



鹿児島市を舞台に今、 活躍する先輩たちからのメッセージ

「人生楽しんでますか?」と、問われてあなたはなんと答えるでしょうか? ローカルには「生きている」という人として本来の在り方を感じさせてくれる暮らし方があると思います。私も首都圏で暮らしていた頃、刺激になるコンテンツが街には多く溢れ、ある意味楽しんでいました。しかし「これは自分でなくても誰でもやれる。」という人の密度が多い環境であることも確か。消費される場所であることも事実。

それに比べてローカルは1人1人が主役になれる可能性が高いと思います。人の「情」の近さと深さ、そして温かさ。「暮らしの余白」みたいなものが「人生を楽しむならローカル」と思わせてくれる。

さあ、一步踏み出してみてはいかがでしょうか。

Kagoshima Lovers Academy アドバイザー 須部貴之さん

マグマシティ、まさしく今、マグマのように燃えたぎる熱い想いを形にしようとする動きが続々始動しています。挑戦しやすい環境の鹿児島市、次はあなたが当事者に! 風は南から。今じゃっど〜!

Kagoshima Lovers Academy メンター 橋口亮さん

最初は上京に憧れていたけど、決して地元が嫌で離れた訳ではなく、いつかは自分にできることで地元貢献したい。私も東京で暮らしながらそんなことを考えていた一人でした。でも、この時代に、東京に残るか、地元に戻るか、二択しかないのことに不自由さも感じていました。あなたもきっとそうではないですか?

遠隔で地方に居場所を持つことは、その中間の例えるなら階段の踊り場のようなかんじです。もし、迷っているなら飛び込んでみることを強くオススメします! きっとあなたらしい地元とのつながり方が見つかると思います。

Kagoshima Lovers Academy メンター 西香菜恵さん

鹿児島市と関わりたい、というその思いが、既に鹿児島市を勇気づける大切な資源です。外にいながら街を思う人の存在が、街の人を勇気づけ、街の魅力を引き上げます。ぜひ、声にだして、あなたの鹿児島愛を言葉にしてみてください。そこから、あなたのkagoshima loversな日常が始まります。

Kagoshima Lovers Academy 講師 永山由高

首都圏だと埋もれがちなこと、鹿児島だとニーズがあったり、スキルを活かせたり、目立ったり、活躍できたり、貢献できたりします。たとえそれが小さな一歩だったとしても、応援してくれる人がいっぱいいて、すぐに誰かとなんでくれて、ちょっとやってみると「すごいね!」って喜んでくれて、「自分にも何かできるんだ!」って思わせてくれる。そんな地域です。特にKagoshima Lovers Projectの関係者は個性派ぞろいで、いろんなスキルを持っていて、すごい人脈があって、でも気さくに誰とでもざっくばらんに話をしてくる人たちがいっぱいいます。何かあったらいつでも気軽に相談できるので、一緒に鹿児島を楽しみましょう!

Kagoshima Lovers Academy アドバイザー 福島大輔さん

場(コミュニティ)もプロジェクトも「人」に紐付いていると感じます。「鹿児島市で○○をやってみよう」と考えているあなた、もしくは、○○は決まっていなけど「鹿児島市で何かやってみよう、何かあるだろう?」と思っているあなたに、まず、このガイドブックに載っている「人」にアクセスすることをお薦めします。

私も県外出身で鹿児島に来て4年。「人」と出会うことでどんどん面白い場やプロジェクト、次なる「人」に出会い、「自分も何かやってみよう」「できるかも!」という感覚を持ち、一步を踏み出せるようになりました。鹿児島市で一緒にできるのを、楽しみにしています!

Kagoshima Lovers Academy メンター 門間ゆきのさん

「自分がやりたいことをして生きている人は一握り。そのような人は限られている。」と思っていた時期もありました。

プロジェクトを通して、首都圏から鹿児島へ移住して5ヶ月の私を感じていることは、やりたいことは探せばできる、ということです。やりたいことが何か、モヤモヤしながら首都圏での生活を続けていた時期と比べ、今では自分がやりたいことで自分の生活が成り立っている、という有り難さに感動しています。鹿児島ではその機会づくりが充実してきているように思えます。迷っているけど一歩踏み出す勇気が欲しい方にとって、鹿児島を活かして探してみるのも良い機会だと思います!

Kagoshima Lovers Academy メンター 押川蓮斗さん

あとかき

鹿児島市がブランドメッセージに掲げる「あなたとわくわくマグマシティ」に込めた思い

「市民と市外の人が思いを重ね共に紡ぐわくわくする未来」の実現に向けてスタートした関係人口創出の取組、それがKagoshima Lovers Projectです。

このプロジェクトを進める中で、まちと人、人と人の多くのつながりが生まれました。その中で感じられた鹿児島市の力、それはやっぱり“人”でした。桜島の下で育まれた人々の熱量が生むつながりが新たな魅力を創り、今のまちがあるのだと。

そして、もう1つの気づきは、プロジェクトで人々のつながりの基点となったキーパーソンの約半数は、鹿児島出身者ではなかったということ。実は、これまでもこのまちは市民と市外の人が共に紡いできたのだという事実でした。

鹿児島市には、まだまだ多くの方が活躍できる場面がたくさんあります。ラバーズマップをご覧ください。皆さんには、ぜひ、これからの活動の場として、鹿児島市にほんの少し思いを寄せていただけると幸いです。

鹿児島市は、これからも皆さんにKagoshima Loversとなっていただけよう取り組んでまいります。

Kagoshima Lovers Mapの制作にご協力いただいた皆さま

Kagoshima Lovers Academy 受講生

UKさん・さや子さん・こうだいさん・うっちーさん・なほさん・きしもんさん・まこっちゃん・コミさん・だーしまさん・naoさん・こうたさん・シンゴさん・あゆみさん・原田さん・ゆーちゃん・みずきどん・まるちゃん

Kagoshima Lovers Academy アドバイザー

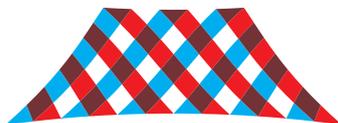
(株) KISYABAREE 代表取締役 須部貴之さん
NPO法人桜島ミュージアム 理事長 福島大輔さん

Kagoshima Lovers Academy メンター

首都圏側メンター：押川蓮斗さん・西香菜恵さん
鹿児島側メンター：門間ゆきのさん・橋口亮さん

Kagoshima Lovers Map ロゴデザイン：ヤマシタケンタ / 誌面デザイン・イラスト：吉満瑞貴 (dokkoi)

あなたとわくわく



マグマシティ 鹿児島市

マグマ、それは、桜島が宿すエネルギー。

それは、大らかであたたかく、時に熱い人々の心。

そして、人と人が紡ぎだす、未来への力。

ここは、みんなの思いをあわせ、

夢へと向かっていける「マグマシティ」。

もっとつながりたくなる、夢をかなえたいくなる、ここで暮らしたくなる……。

わくわくする明日を、あなたと。

Kagoshima Lovers Map

発行：Kagoshima Lovers Project 運営事務局
(一般社団法人鹿児島天文館総合研究所Ten-Lab)

住所：鹿児島県鹿児島市船津町1-11-3階

Tel：080-2785-4563

E-mail：info@ten-lab.com

Kagoshima Lovers Project は鹿児島市の主催事業です。

一般社団法人鹿児島天文館総合研究所Ten-Labが委託を受け運営しています。

KAGOSHIMA
LOVERS
PROJECT